

詩・俳句・短歌

今回の児童・生徒のコーナーでは、光中のお友達のお作品を紹介いたします。



1年 平野 敦子

戦争

「戦争ってなに？」
私達が大人になったところ
子供達は
たずねるだろう。

私達でさえ知らない
戦争の恐しさ
戦争の悲しさ
戦争のむごさ
子供達にわかるだろうか
何も知らない私達の話で

わかるだろうか。

戦争

もう二度とくり返してはならない
私達には体験のない
戦争のことを。



1年 大木 幸恵

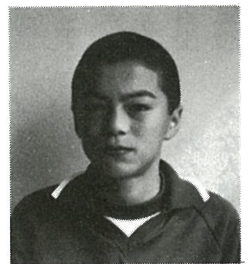
戦争よ命を返せ…！

一九四五年八月十五日、
何人もの人の命とともに
戦争は立ち去った。

広島や長崎の人々は、
何人の家族をなくして
しまっただろうか。

私は、経験したことがない。
けれど
家族を一瞬のうちに
なくしてしまった人の
嘆きが聞こえる。

「家族を返せ」「両親を返せ」
「子供を返せ」
こんな言葉が
戦争に対しての
いかりである。



1年 小川 誠

犠牲

思っていただろうか
戦争がこんなになるとは
何人もの命
何軒もの家を
またたく間にうばってしまった

何百人もの戦士は、
「お国のため」

と言って敵にのりこんでいった。
もう帰れないことも知らずに
たちむかつていく戦士

戦争
もうやってはならない
大人のかげ



3年 野村 浩光

生命

一年は三百六十五日。
その、三百六十五日は、すべて同じもので



イカの
しょうゆ焼き

皮をむいたイカに包丁目を入れて、しょうゆ焼きにします。

大きめのイカ二杯のワタを抜き、足は二本ずつに切り離して、長ければ先の方は切り落とします。胴の三角部分をとり、皮をむいて開きます。

三角部分、胴、ともに斜めにイカの厚みの三分の一ぐらいの深さで、表と裏全体に細かい切れ目を入れます。こうすると焼いた時に丸くならず、やわらかく食べられます。足、三角部分、胴を一緒にして、しょうゆ大きじ3、酒大きじ2の中に約15分つけます。

焼き網をよく空焼きしておき、強火でイカの表と裏を焼きます。身の色が少し不透明になって火が通ったら、一度つけ汁をつけて再び焼きます。焼き上がってから食べよいい大きさに切り、あればユズ皮のすりおろし少々とユズ汁を添えて食べます。焼き過ぎると硬くなります。焼きたてを食べましょう。

●(つける時間も入れて約40分、4人分)